

3章 未来をひらく文化と環境のまちづくり

現況

長い歴史を誇る本町では、寺社や遺跡が多く残り、京都府の無形民俗文化財に指定されている「いごもり祭」や豊作を願う「おんごろどん」などの伝統行事が今日まで継承されてきました。

一方で、学研都市の中心地にふさわしい先進的な研究開発の蓄積をもとに、「エコを学研都市の文化に」と、持続可能な社会経済システムづくりへの寄与が目指され、多くの住民も様々な社会実証に関わり始めています。

こうしたまちの資産を活かし、町内の小中学校では、学研都市の立地機関と連携した理科教育や、農家の協力による農業体験など、特色ある教育を展開してきました。

生涯学習では、文化・スポーツ関連のサークル活動が盛んで、150を超える団体が活発な活動を繰り広げています。さらに、町立図書館では、国立国会図書館関西館との連携も進められており、町役場庁舎との併設という利便性もあって、多くの人たちに利用されています。

これから10年の課題

■学校教育

学研都市を活かした先進的な教育環境の中で、時代の変化に柔軟に対応した教育を推進し、確かな見通しを持って主体的に生きていけるひと、創造性あふれる心豊かなひとを育成するため、教育内容や教育環境をさらに充実させる必要があります。

■生涯学習

生涯にわたっての学習活動の充実を図るため、文化活動やスポーツ活動を通して、住民の自主的な学習活動を促進する必要があります。また、町の歴史や文化を知る機会を増やすことで、住民の町への愛着を高める必要があります。

■人権尊重と男女共同参画

人権が尊重されるまちづくりを進め、男女共にその個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現や、誰もが平和で安心して暮らせる多文化共生社会の形成に努める必要があります。

■環境共生

住民と行政・各種団体・企業とのパートナーシップの強化を図るとともに、環境学習の推進など、それぞれの主体の意識向上を図ることで、環境に配慮したライフスタイルや事業活動の普及を目指し、環境にやさしい循環型社会を構築する必要があります。

■情報化

情報化社会の進展に伴い、すべての住民が利便性を実感できる行政情報サービスの提供と、そのための住民ニーズ及び社会状況の把握が求められます。町の情報発信の拠点としての図書館機能のさらなる充実を図る必要があります。



誰もが個人として尊重されるまちを目指して、人権意識の醸成に向けて力を注ぎ、男女の隔てなく尊重される男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。国際交流団体や国際交流員による外国人支援など、多文化共生社会づくりが進んでいます。昭和62年には「非核・平和都市宣言」が制定され、平和の尊さを訴える取り組みが続けられてきました。

環境分野では、多くの人たちが、まちをきれいにとの思いから環境美化や里山保全、さ

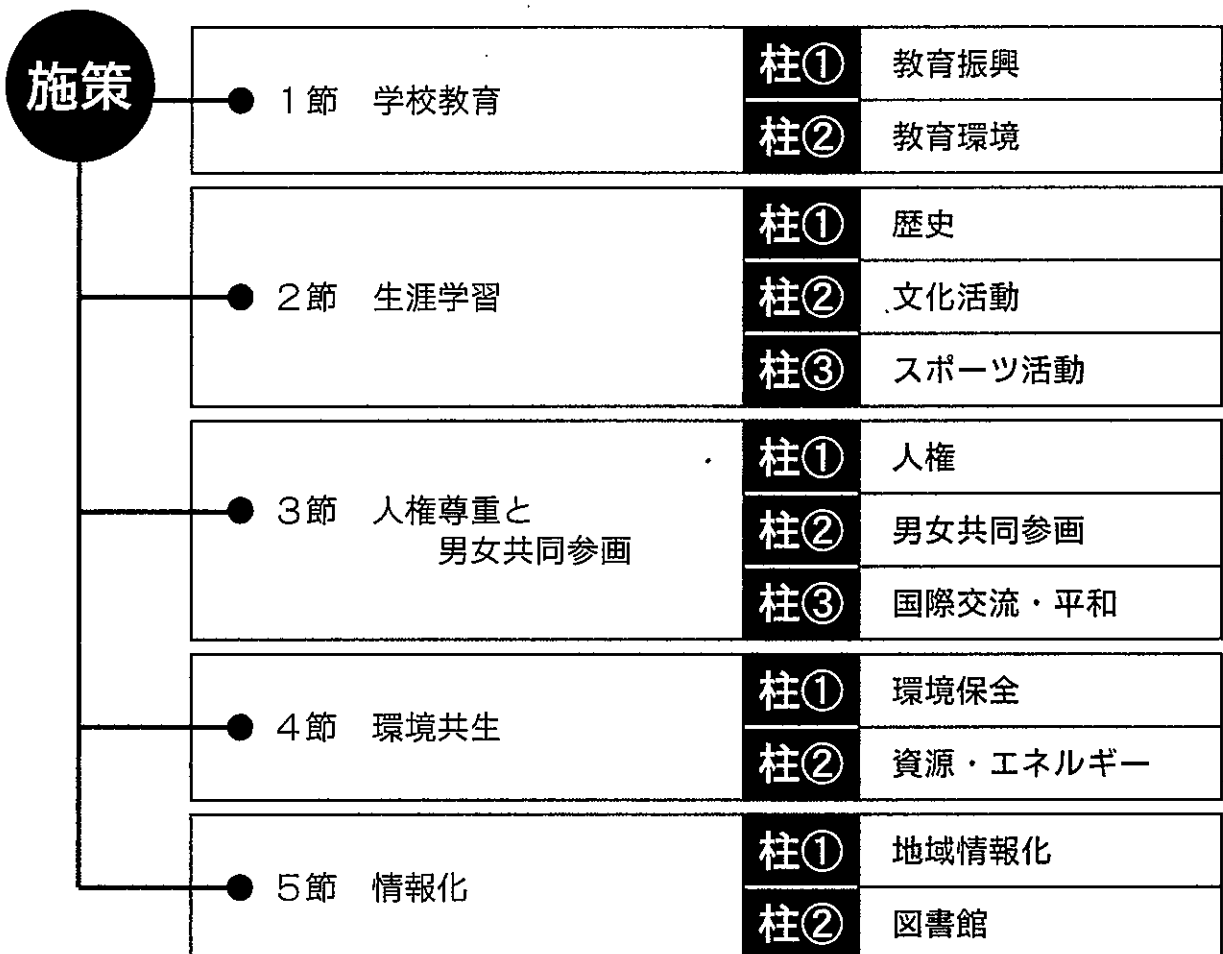
らには各種の環境問題の解決のための活動を繰り広げています。

インターネットを中心とした情報通信基盤整備も一定の水準に達しています。また、ICT[※]を利用した様々な地域活動も活発になっており、住民同士の交流にも寄与しています。

〔ICT〕

(Information and Communication Technology)

情報や通信に関する技術。



● 1節 学校教育

柱①

教育振興

時代の変化に対応できる心豊かな子どもたちを育むため、学研都市の資源を活かした創意ある教育活動を展開し、子どもたちに魅力ある学校教育を推進します。また、家庭や地域にとって開かれた学校づくりを図り、地域と学校が一体となって、子どもたちを守り育てる教育に取り組んでいきます。

<目標像>

社会の変化に対応した教育が推進され、子どもたちの豊かな人間性が育かれています。

指標 1、2

柱②

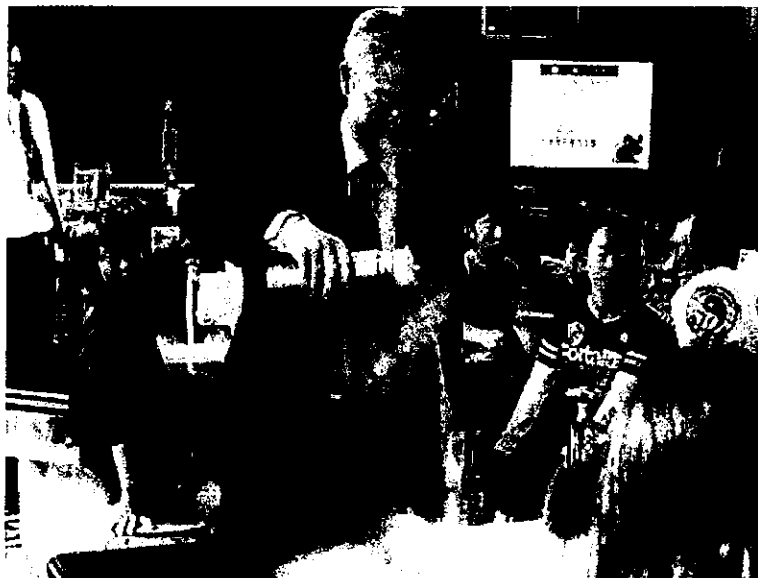
教育環境

子どもたちが安全で安心できる学校生活を送れるよう、小中学校施設の耐震化を早期に完了します。また、各学校においても空調設備を完備し、バリアフリーを進め、快適で誰もが安心して学べる教育環境を整備します。中学校への給食導入を進め、食育の推進を図ります。

<目標像>

子どもたちの安全が確保され、安心できる良好な教育環境が整備されています。

指標 3、4



出前授業

指 標				
	上段：指標名	現在値 (H. 23)	中間目標値 (H. 29)	期末目標値 (H. 34)
	下段：出典			
1	学校図書蔵書達成率 学校教育課調べ	64.0%	80.0%	90.0%
2	学研立地機関等出前授業件数 学校教育課調べ	14件	20件	25件
3	学校耐震化率 耐震改修状況調査（京都府）	92.0%	100%	100%
4	普通教室空調設備設置率 空調設備の設置状況調査（京都府）	7.0%	60.0%	100%

関連計画等		
関連する指針・計画等	学校教育指導の重点、せいか学びと育ちプラン	策定年度・期間等 毎年策定
関連する指針・計画等	文部科学省公立の義務教育諸学校施設の整備に関する施設整備基本方針及び計画	策定年度・期間等 平成18年4月
関連する条例・規則等	精華町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則	制定・施行年月等 昭和58年3月

● 2節 生涯学習

柱 ①

歴史

資料の収集や調査・研究、保存に努め、歴史民俗資料館の建設に向けた取り組みを進めます。また、住民が町の歴史などに興味を持つよう、文化財や史跡などに接する機会の増加を図ります。

<目標像>

多くの住民が、精華町の歴史や史跡、寺社仏閣などの文化財に親しみを持っています。

指標 1

柱 ②

文化活動

住民がより活発に文化活動を行えるよう、精華町文化協会と連携して各種の文化振興施策を展開するとともに、各種公共施設が様々な文化芸術の活動で盛んに活用されるよう推進します。

<目標像>

住民の文化活動が盛んに行われています。

指標 2、3

柱 ③

スポーツ活動

住民がより活発にスポーツ活動を行えるよう、NPO法人精華町体育協会と連携して各種のスポーツ振興を展開するとともに、スポーツ施設を計画的に整備し、スポーツに親しむ人の増加を目指します。

<目標像>

住民が健康の保持・増進や生きがいのため、充実したスポーツライフを送っています。

指標 4、5



町民体育大会

指 標				
	上段：指標名 下段：出典	現在値 (H. 23)	中間目標値 (H. 29)	期末目標値 (H. 34)
1	歴史・文化財に関する講演会参加者数 生涯学習課調べ	62人	100人	150人
2	文化協会加盟サークル数 生涯学習課調べ	47団体	70団体	100団体
3	文化フェスティバル出展・出演者数 生涯学習課調べ	570人	750人	1,000人
4	スポーツ施設利用者数 生涯学習課調べ	185,000人	192,000人	195,000人
5	スポーツクラブ会員数 生涯学習課調べ	2,888人	3,400人	4,000人

関連計画等		
関連する指針・計画等	社会教育指導の重点、せいか学びと育ちプラン	制定・施行年月等 毎年策定
100人の集いで提案された活動例	精華百景・精華百選・精華百話づくり活動 生涯学習推進組織づくり活動と「精華塾」の立ち上げ	